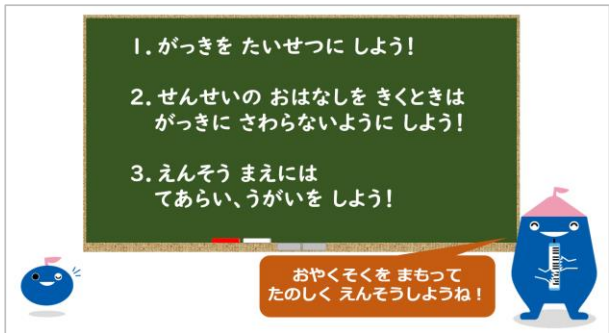
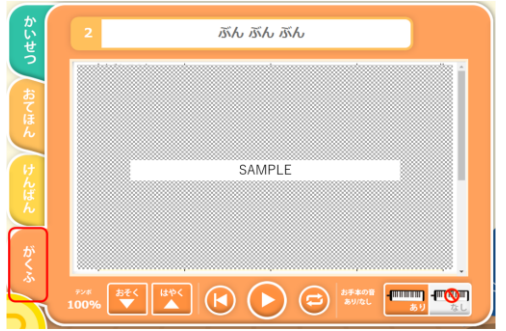
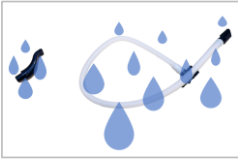


No.	活動内容	学習のねらい・ポイント	使用画面・機能	備考
1	けんぱんハーモニカって どんながっき？ 本時の学習のめあてを確認し、「まなぶ」の「1. けんぱんハーモニカって どんながっき？」の動画を流す。その上で、本時の学習の流れを児童と一緒に確認する。 	・鍵盤ハーモニカに興味を持たせる 児童に鍵盤ハーモニカへの興味・関心を持たせるために、まずは動画で鍵盤ハーモニカがどんな楽器なのかを学習します。さらに楽器の音色に注目させるために、適宜「プレイ」メニューから児童が好きな楽曲を選んでお手本を聴かせたり、先生が範奏したりして、鍵盤ハーモニカにより興味が持てるように工夫してみてもよいでしょう。 その上で、授業の見通しを立てるために、本時の学習の流れを児童と一緒に確認してみてください。 また、次の2. の学習内容までは鍵盤ハーモニカをケースから出さずに学習をすすめるようにしましょう。	「まなぶ」の「1. けんぱんハーモニカって どんながっき？」 ※適宜「プレイ」から楽曲を選択し「おてほん」画面で動画を再生	「プレイ」メニューから児童が好きな楽曲を選択し、「おてほん」画面で動画を再生しましょう。「おてほん」画面では実際に児童が演奏している映像を視聴できます。 
2	けんぱんハーモニカを えんそうする じゅんびをしよう 「まなぶ」の「2. くみたてかた」の動画を流し、実際に鍵盤ハーモニカを組み立てる。その上で、「4. けんぱんハーモニカのおやくそく」の動画を流し、鍵盤ハーモニカの授業を進めるにあたっての約束事を児童と一緒に確認する。  	・演奏前の準備とお約束を確認する まずは、鍵盤ハーモニカを組み立てて演奏の準備をします。児童は楽器に興味津々で、楽器を触ったり、音を出したりしたがる傾向にあるかと思うので、実際に楽器を組み立てる前に「けんぱんハーモニカのおやくそく」の動画を視聴して、ルールを守ることが併せて確認しましょう。特に、楽器を大切に扱うことや先生のお話を聞くときのルールは、今後の学習を進めるにあたっての重要な「約束事」ですので、丁寧に説明をするようにしてください。楽器の演奏をやめる時の分かりやすい合図などもここで決めておくと、よりスムーズな授業展開が期待できるので工夫してみるとよいでしょう。	「まなぶ」の「2. くみたてかた」（前半の「座って演奏する時の組み立て方」のみ視聴） 「まなぶ」の「4. けんぱんハーモニカのおやくそく」	右上にある「まとめ」ボタンを押すと、動画の要点がまとまった画像が表示されます。動画を見終わった後、実際に児童が活動をする際に、要点を確認できるような板書代わりとして活用することができます。 

No.	活動内容	学習のねらい・ポイント	使用画面・機能	備考
3	けんぱんの ひみつを ときあかそう 「まなぶ」の「7. けんぱんの ひみつ」の動画を流し、鍵盤ハーモニカの鍵盤部分の特徴に注目する。 	・ 鍵盤に親しむ この動画では「けんぱんの ひみつ」という楽曲の歌詞を見ながら、謎解き感覚で鍵盤の特徴を楽しく学習していくことができます。 鍵盤の特徴としては下記のことを押さえておきましょう。 ・ 鍵盤は白鍵と黒鍵がある ・ 「お山」は黒鍵を指している ・ 「お山」は「2つのお山」と「3つのお山」があり、順番に並んでいる ・ 左側が低い音で右側になるにつれてだんだん音が高くなる 特に黒鍵の並び方は、基準の音となる「ド」の音を探す時にも重要なポイントとなりますので、しっかり確認しておきましょう。	「まなぶ」の「7. けんぱんの ひみつ」	
4	けんぱんハーモニカを ふいてみよう まずは「まなぶ」の「5. かまえかた（すわってえんそう）」の動画を流し、鍵盤ハーモニカを演奏する際の正しい姿勢について学習する。その上で、「8. いきの つかいかた」の動画で吹き方を学び、「11. いろんな おとを ふいてみよう2」の動画のお手本に合わせて「車のクラクション」と「救急車のサイレン」の音を演奏する。 	・ 黒鍵を使って「ものまね遊び」をする 鍵盤ハーモニカで音を出してみる活動となりますが、まずは正しい姿勢と息の使い方を動画で学習します。「8. いきの つかいかた」の動画を視聴後に、「長い音」「短い音」「強い音」「弱い音」を児童と一緒に吹いてみてもよいでしょう。 その上で、「11. いろんな おとを ふいてみよう2」の動画を流し、「がっきあそび」という楽曲をお手本に合わせて演奏します。この楽曲では黒鍵を使って「車のクラクション」と「救急車のサイレン」の音まねをします。黒鍵を使って「ものまね遊び」をすることで、鍵盤の仕組みに慣れ親しませることがポイントです。 お手本に合わせて演奏する前に、各自で練習する時間を設けてあげましょう。その際、児童の中にはつつい夢中になって、ずっと練習し続けてしまう子もいるかもしれません。吹くのをやめる合図を再度確認した上で、練習を開始するとよいでしょう。 また、大きな音を出すよりも、やさしい息で丁寧に吹くことが大切です。「○○さんのクラクションの音は、思いやりがある音だったね」など、丁寧な吹き方に対して価値付けしてあげると分かりやすいでしょう。	「まなぶ」の「5. かまえかた（すわってえんそう）」 「まなぶ」の「8. いきの つかいかた」 「まなぶ」の「11. いろんな おとを ふいてみよう2」 ※時間があれば「10. いろんな おとを ふいてみよう1」を演奏してもよい	

No.	活動内容	学習のねらい・ポイント	使用画面・機能	備考
5	「ド」のおとをふいてみよう 「まなぶ」の「14. 「ど」はどこかな?」の動画を見て、鍵盤ハーモニカの「ド」の音の場所を探す。その上で、適宜「プレイ」の「1. どんぐりさんのおうち」の1番や「2. ぶんぶんぶん」を使って、「ド」の音を演奏する。 	・「ド」の音の場所を探して吹いてみよう 「14. 「ど」はどこかな?」の動画を見た後に、自分の鍵盤ハーモニカ上で「ド」の場所を探してみましょう。お隣同士で場所が合っているか確認してみてもよいです。 その上で、「ド」の音だけを使った楽曲を演奏してみましょう。「プレイ」の「1. どんぐりさんのおうち」の1番や「2. ぶんぶんぶん」が該当します。「ド」の鍵盤を右手の親指で押さえたまま、「トゥ・トゥ・トゥ」とやさしい息で吹くのがポイントです。 さらに、正しい姿勢と指の構え方やタンギングについて確認してみてもよいでしょう。	「まなぶ」の「14. 「ど」はどこかな?」 ※適宜「プレイ」から「1. どんぐりさんのおうち」か「2. ぶんぶんぶん」を選択し「がくふ」画面で楽曲の音源を再生 ※適宜「まなぶ」の「12. ゆびのかまえた」「9. トウトウトウのおはなし」で動画を再生	
6	けんぱんハーモニカを おかたづけよう 「まなぶ」の「3. おかたづけ」の動画を流し、鍵盤ハーモニカのお手入れ方法と片付け方を学習する。楽器を大切に扱うことを意識させるようにする。  	・楽器を清潔に保つために 鍵盤ハーモニカは口を付けて吹く楽器です。そのため、演奏用パイプや唄口、鍵盤ハーモニカ本体内にも水滴が付きやすく、それを放置するとカビの原因になってしまうこともあります。演奏後は必ず水抜きをしたり、水滴を拭き取ったり、汚れた鍵盤を柔らかい布で拭いたりする習慣を付けましょう。特に長期休暇前などには、演奏用パイプや唄口は水洗いして清潔に保つにしましょう。 	「まなぶ」の「3. おかたづけ」	